

プログラム



特別講演 1

第1日目 5月23日(木) 10:40~11:40 第1会場

座長：安田 浩（産業医科大学形成外科）

「化学熱傷」

演者：山元 修（鳥取大学医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野）

特別講演 2

第1日目 5月23日(木) 14:00~15:00 第1会場

座長：安田 浩（産業医科大学形成外科）

「日本人を動かすもの 新しい視点からの日本史」

演者：井沢 元彦（歴史研究家）

教育講演 1

第2日目 5月24日(金) 10:30~11:30 第1会場

座長：田熊 清継（川崎市立川崎病院 救命救急センター）

「重症熱傷の代謝栄養療法」

演者：海塚 安郎（製鉄記念八幡病院 救急集中治療部）

教育講演 2

第2日目 5月24日(金) 14:30~15:30 第1会場

座長：佐々木淳一（慶應義塾大学医学部 救急医学教室）

「WHO が牽引する災害医療の標準化と我が国の貢献」

演者：久保 達彦（産業医科大学 産業生態科学研究所 環境疫学）

台湾 MOU 記念講演

第1日目 5月23日(木) 13:30~14:00 第1会場

座長：齋藤 大蔵（防衛医科大学校 防衛医学研究センター）

「The Role of ECMO in Massive Burns」

演者：Cherng-Kang Perng (Taipei Veterans General Hospital)

シンポジウム1

第1日目 5月23日(木) 9:00~10:30 第1会場

「MADE IN JAPAN 熱傷治療材の開発秘話」

座長：鈴木 茂彦（独立行政法人労働者健康安全機構 浜松労災病院）
猪口 貞樹（海老名総合病院）

SY1-1 「人工真皮開発裏話」

鈴木 茂彦（独立行政法人労働者健康安全機構 浜松労災病院）

SY1-2 「塩基性繊維芽細胞成長因子 (bFGF) の創傷治療剤としての開発」

土方 重樹（科研製薬株式会社 医薬事業開発部）

SY1-3 「医療関係者が自ら作製されていた院内製剤から誕生したユーパスタコーワ」

豊園 勝志（興和株式会社 学術情報部）

SY1-4 「エスアイエイドの開発」

上田 充志（アルケア株式会社 ウンド&ナーシングケア事業部 設計開発部 ウンドケア開発G）

SY1-5 「日本初の再生医療製品として開発された自家培養表皮ジェイス」

井家 益和（株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 研究開発部）

シンポジウム2

第1日目 5月23日(木) 15:00~16:30 第1会場

「熱傷治療の群雄割拠 -日本統一はなるか-」

座長：黒川 正人（熊本赤十字病院 形成外科）
鳴海 篤志（独立行政法人国立病院機構 別府医療センター 救急科）

SY2-1 「北海道での熱傷局所治療—北大形成外科を代表して—」

木村 中（函館中央病院 形成外科）

SY2-2 「当院救急科の熱傷治療局所療法の実際とそれに関連する諸施設での変遷とその影響」

池田 弘人（帝京大学医学部救急医学、帝京大学医学部附属病院救急科）

SY2-3 「北陸における熱傷局所治療の動向」

岸邊 美幸（金沢医科大学 形成外科）

SY2-4 「母床壊死、炎症期・肉芽期を意識した局所管理」

中島 紳史（JCHO 中京病院 救急科）

SY2-5 「近畿大学病院熱傷センターにおける熱傷局所治療の変遷」

上田 敬博（近畿大学病院 熱傷センター）

SY2-6 「エキザルベ®ガーゼによる熱傷治療」

吉本 浩（長崎大学 形成外科）

シンポジウム3

第2日目 5月24日(金) 9:00~10:30 第1会場

「火災で遭遇する多数熱傷患者～吸入損傷を中心に～」

座長：織田 順 (東京医科大学 救急・災害医学分野)
新井 隆男 (東京医大八王子医療センター 救命救急センター)

- SY3-1** 「多数の気道熱傷患者が発生した場合の対応：川崎市内で発生した火災による多数傷病者事案」
土井 賢治 (横浜市立みなと赤十字病院)
- SY3-2** 「熱傷患者大量発生時の気道熱傷のトリアージについて～新幹線火災の事例から～」
辻 友篤 (東海大学医学部外科学系救命救急医学)
- SY3-3** 「気道熱傷患者のトリアージ –多摩市ビル火災の経験から」
中山 文彦 (日本医科大学 多摩永山病院 救命救急センター)
- SY3-4** 「建築中のビル火災事故による多数気道熱傷傷病者への対応」
久野 将宗 (日本医科大学 多摩永山病院 救命救急センター)

パネルディスカッション1

第2日目 5月24日(金) 13:00~14:30 第1会場

「災害発生における拠点病院の対応」

座長：田中 裕 (順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科)
村尾 佳則 (近畿大学医学部 救急医学教室)

- PD1-1** 「平成28年熊本地震. 熊本大学病院で起こったこと。」
金子 唯 (熊本大学医学部附属病院 救急・総合診療部)
- PD1-2** 「平成28年熊本地震における基幹災害拠点病院の対応」
奥本 克己 (熊本赤十字病院 救命救急センター)
- PD1-3** 「大阪府北部地震 大阪医科大学附属病院でおこったこと、そしてその後について」
高須 朗 (大阪医科大学 救急医学教室)
- PD1-4** 「平成30年北海道胆振東部地震における北海道大学病院の対応について」
方波見謙一 (北海道大学病院先進急性期医療センター)
- PD1-5** 「平成30年北海道胆振東部地震～北海道大学病院形成外科での経験～」
村尾 尚規 (北海道大学 大学院医学研究院 形成外科学教室)
- PD1-6** 「重傷熱傷患者の大量発生時における対応」
清住 哲郎 (防衛医科大学校 防衛医学講座)

パネルディスカッション2

第2日目 5月24日(金) 15:30~17:00 第1会場

「日本の熱傷教育を考える」

座長：佐々木淳一（慶應義塾大学医学部 救急医学教室）

上山 昌史（独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 救急科）

PD2-1 「本邦における熱傷教育の現状」

大峯 啓志（産業医科大学病院 形成外科）

PD2-2 「熱傷看護教育の現状と課題」

崎谷 陵一（社会医療法人北九州病院 北九州総合病院）

PD2-3 「救急救命士に対する熱傷教育」

森川 博司（一般財団法人救急振興財団救急救命九州研修所）

PD2-4 「熱傷教育における ABLIS の位置付け」

武田 多一（三重大学医学部附属病院災害医療センター、三重大学地域圏防災減災研究センター）

PD2-5 「アメリカで flight nurse となるまでの道のり」

村上 裕子（San Francisco General Hospital）

委員会報告 学術委員会

第2日目 5月24日(金) 9:40~11:40 第2会場

【第1部】熱傷レジストリー報告

【第2部】熱傷診療ガイドライン（改訂第3版）

1. 概略・改訂の経緯
2. 重症度評価
3. 気道熱傷
4. 初期輸液
5. 初期局所療法
6. 外科的局所療法
7. 感染
8. 栄養
9. 特殊熱傷
10. 鎮痛・鎮静
11. 輸血・DVT 対策
12. リハビリテーション
13. リエゾン・終末期・家族対応
14. 総括

市民公開講座

第2日目 5月24日(金) 15:30~16:30 第2会場

司会：吉牟田浩一郎（北九州総合病院 形成外科）

講演1 「やけどの応急処置」

秋本倫太郎（産業医科大学 救急医学）

講演2 「形成外科を知ってください」

松永 洋明（産業医科大学病院 形成外科）

ランチョンセミナー1

第1日目 5月23日(木) 11:50~12:50 第1会場

座長：川上 重彦（金沢医科大学 形成外科学）

「Burn Epidemiology and Management in China」

演者：Jun Wu（Chairman, Burn Society of China Medical Association
Academic Leader, burn department, The 1st Affiliated Hospital, Sun Yet-San
University Vice president, research institute of translational medicine,
Sun Yet-San University）

共催：ケーシーアイ株式会社

ランチョンセミナー2

第1日目 5月23日(木) 11:50~12:50 第2会場

座長：松村 一（東京医科大学 医学部医学科 形成外科学分野）

「人工真皮移植法変法「人工真皮サンドウィッチ法」の意義と実際」

演者：池田 弘人（帝京大学 医学部医学科 救急医学講座）
中島 紳史（JCHO 中京病院 救急科）

共催：アルケア株式会社／オリンパステルモバイオマテリアル株式会社

ランチョンセミナー 3

第2日目 5月24日(金) 11:45~12:45 第2会場

座長：島田 賢一 (金沢医科大学 形成外科学)

「熱傷治療におけるソフトシリコン粘着のベネフィット」
～King of Intensive Care における創管理のチームマネジメント～

演者：井上 貴昭 (国立大学法人筑波大学 医学医療系 救急医学・集中治療学)

共催：メンリッケヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー 4

第2日目 5月24日(金) 11:45~12:45 第3会場

座長：仲沢 弘明 (日本大学医学部附属板橋病院 形成外科)

「熱傷をより綺麗に治すために」

演者：伊東 大 (宮崎大学医学部外科学講座 形成外科学分野)

共催：科研製薬株式会社

アフタヌーンセミナー 1

第1日目 5月23日(木) 15:00~16:00 第2会場

座長：松村 一 (東京医科大学 形成外科学教室)

「熱傷治療における現状の課題とその対応 ～人工真皮と銀含有創傷被覆材の活用術～」

講演1：「形成外科・救命救急 2つの視点から熱傷治療をマネジメントする」

黒柳 美里 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター)

講演2：「現代の救急医療・広範囲熱傷管理に求められるもの」

井上 貴昭 (筑波大学附属病院 救急・集中治療部)

共催：コンバテック ジャパン株式会社

アフタヌーンセミナー2

第2日目 5月24日(金) 13:20~14:20 第2会場

座長：佐々木淳一（慶應義塾大学病院 救急科）

「人工真皮新たな治療の可能性」

演者：副島 一孝（日本大学医学部附属板橋病院 形成外科）

小野 真平（日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科）

共催：センチュリーメディカル株式会社

イブニングセミナー

第1日目 5月23日(木) 16:40~17:40 第1会場

座長：清川 兼輔（久留米大学医学部形成外科・顎顔面外科学講座）

「熱傷治療における亜鉛の効果と局所管理のベストチョイス」

演者：森島 容子（大垣市民病院 形成外科）

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社/レ・ラボトワール・プロティエ社

一般演題1 [口演]

第1日目 5月23日(木) 9:00~10:00 第2会場

「気道熱傷・全身管理」

座長：田崎 修（長崎大学病院 高度救命救急センター）

01-1 「気道熱傷患者における遅発性上気道狭窄のリスク因子の検討」

松村 一希（慶應義塾大学 医学部 救急医学）

01-2 「打ち上げ花火が口腔内に噴出し受傷した気道熱傷の1例」

岩瀬 史明（山梨県立中央病院 救命救急センター）

01-3 「地域3次医療施設で同時に受け入れざるを得なかった重症熱傷の3症例」

堅 良太（飯塚病院 集中治療部）

01-4 「大規模災害時の多数熱傷患者後方搬送におけるコンタクトリストの必要性」

諸江 雄太（日本赤十字社医療センター 救命救急センター）

01-5 「肺経由動脈熱希釈法（PiCCO）を用いた熱傷蘇生時の血管内容量測定の試み」

松山 重成（兵庫県災害医療センター-高度救命救急センター）

01-6 「吸入損傷の重症度スコアリング Modified Abbreviated Burn Severity Index の開発と検証」

山元 良（慶應義塾大学 医学部 救急医学）

一般演題2 [口演]

第1日目 5月23日(木) 10:00~10:40 第2会場

「看護」

座長：三宅 順子(産業医科大学 形成外科)

O2-1 「熱傷包交手順の見直し」

後藤 優実(製鉄記念八幡病院 看護部)

O2-2 「熱傷センターにおける看護師への疼痛管理教育後の変化」

遠藤 優哉(独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 看護部 救命救急センター)

O2-3 「救命の是非が大きく議論された重症広範囲熱傷の1例」

富沢 夏美(日立総合病院 救急集中治療科)

O2-4 「熱傷のリエゾン・精神医学自殺企図後の顔面熱傷後瘢痕患者の治療について」

川本 恭子(東京女子医科大学 神経精神科)

一般演題3 [口演]

第1日目 5月23日(木) 16:00~16:50 第2会場

「感染」

座長：小池 薫(京都大学大学院 医学研究科 初期診療・救急医学分野)

O3-1 「コエンザイム Q10投与は熱傷後 MRSA 感染マウスの生存率を改善する」

宮崎 裕美(防衛医科大学校 防衛医学研究センター 外傷研究部門)

O3-2 「重症熱傷患者のカンジダ血症診断における血清β-D-グルカンの臨床的意義」

海田 賢彦(杏林大学 医学部 救急医学)

O3-3 「熱傷患者における敗血症の早期診断」

濱口 満英(近畿大学病院 救命救急センター)

O3-4 「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)が検出された熱傷患者への感染対策」

岩瀬 史明(山梨県立中央病院 救命救急センター)

O3-5 「敗血症治療に難渋した頭部4度熱傷の一例」

熊川 靖章(JCHO 中京病院 救急科)

一般演題4 [口演]

第1日目 5月23日(木) 9:00~10:00 第3会場

「植皮・培養表皮移植・スキンバンク」

座長：島田 賢一（金沢医科大学 形成外科）

O4-1 「85%TBSA 熱傷患者の植皮戦略」

米田 和弘（JCHO 中京病院）

O4-2 「人工真皮による母床構築と分層植皮により救肢することができた両下腿3度熱傷の1例」

一ノ橋紘平（近畿大学医学部附属病院救命救急センター熱傷センター）

O4-3 「糖尿病マウス皮膚欠損創モデルにおけるヒト乾燥培養表皮の創傷治癒促進効果」

坂本 道治（京都大学大学院 医学研究科 形成外科学）

O4-4 「7歳時に自家培養表皮移植を行った患児の10年の経過」

松原 大樹（広島大学 皮膚科）

O4-5 「広範囲熱傷における自家培養表皮の生命、機能予後への有用性について」

吉野 匠（前橋赤十字病院 集中治療科 救急科）

O4-6 「日本スキンバンクネットワーク2018年活動報告」

青木 大（一般社団法人日本スキンバンクネットワーク）

一般演題5 [口演]

第1日目 5月23日(木) 10:00~10:40 第3会場

「医原性熱傷」

座長：橋本 一郎（徳島大学医学部 形成外科）

O5-1 「車椅子用ゲル素材クッションによる臀部熱傷の1例」

渡邊 亮典（大垣市民病院 形成外科）

O5-2 「リンパ管静脈吻合時の顕微鏡による熱傷と手術用ゴム手袋を使用した保護材の工夫」

吉田 周平（広島大学病院 国際リンパ浮腫センター）

O5-3 「低体温症に使用された加温用赤外線灯による医原性熱傷の治療経験」

石川 耕資（北海道大学 大学院医学研究院 形成外科学教室）

O5-4 「当院における医原性熱傷の検討」

原野 良平（金沢医科大学 形成外科）

一般演題6 [口演]

第1日目 5月23日(木) 15:00~16:00 第3会場

「病態・リハビリテーション」

座長：塩野 茂（大阪府立中河内救命救急センター）

- O6-1** 「ベタメタゾンは熱傷進行を抑制するか～in vitro および in vivo 熱傷モデルを用いた研究」
松浦 喜貴（京都大学 形成外科）
- O6-2** 「高齢者に多い入浴時に受傷する低温熱湯熱傷症例の検討」
進来 塁（大分市医師会立アルメイダ病院 形成外科）
- O6-3** 「手指深達性熱傷に対し、関節固定術を施行し手指機能温存に至った1例」
山本 菜央（独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 リハビリテーションセンター）
- O6-4** 「手指深達性熱傷に対し、関節固定術を施行した4症例」
工藤 啓介（独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 リハビリテーションセンター）
- O6-5** 「両手背3度熱傷に対する持続神経浸潤麻酔を用いた早期リハビリテーションの1症例」
永井 淳（奈良県立医科大学附属病院救命救急センター）
- O6-6** 「ポリエチレン製シーネによる手指熱傷後の後療法」
福田 憲翁（山形大学 医学部附属病院 形成外科）

一般演題7 [口演]

第1日目 5月23日(木) 16:00~17:00 第3会場

「統計」

座長：山田 裕彦（岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 救急医学分野）

- O7-1** 「2006年以降の熱傷患者の動向」
山田 裕彦（岩手医科大学 医学部 救急・災害・総合医学講座 救急医学分野）
- O7-2** 「当院における過去10年間の熱傷症例の傾向に関する検討」
吉本 聖（徳島大学 医学部 形成外科・美容外科）
- O7-3** 「当センターにおける50年間の熱傷診療の検討」
松浦 裕司（大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
- O7-4** 「火災現場における心肺停止症例の検討」
鈴木 準（杏林大学医学部附属病院救急医学）
- O7-5** 「獨協医科大学病院における上肢熱傷手術症例の検討」
藤澤 大輔（獨協医科大学 形成外科学）
- O7-6** 「当院における下肢熱傷の検討」
尾島 洋介（東京医科大学 医学部 形成外科学分野）

一般演題8 [口演]

第2日目 5月24日(金) 8:50~9:40 第2会場

「合併症」

座長：春成 伸之（湘南真田クリニック）

- 08-1 「足関節 Bowstringing を呈した下腿熱傷の一例」
小坂 和弘（仙台市立病院 形成外科）
- 08-2 「熱傷加療中に横紋筋融解症を認めた1例」
東野 哲志（国立病院機構熊本医療センター 形成外科）
- 08-3 「熱傷加療中び化膿性血栓性静脈炎を合併した1例」
浅香 衣里（東京女子医科大学 形成外科）
- 08-4 「熱傷の経過中に非閉塞性腸管虚血症を合併した3症例」
熊澤 憲一（北里大学 医学部 形成外科・美容外科学）
- 08-5 「広範囲熱傷患者でみられた全身性集族性小水疱病変の1例」
窪田 吉孝（千葉大学 形成外科）

一般演題9 [口演]

第2日目 5月24日(金) 8:50~9:50 第3会場

「高齢者・小児熱傷」

座長：松嶋 麻子（名古屋市立大学大学院 医学研究科先進急性期医療学）

- 09-1 「80歳以上の高齢者による自宅浴槽内での熱傷受傷の原因と予防対策の提案」
山倉 凌太（JA 長野厚生連 佐久医療センター 看護部）
- 09-2 「当院で入院となった乳幼児熱傷の重要な合併症について」
松下 友樹（浜松医科大学 形成外科）
- 09-3 「電気ケトルによる乳幼児熱傷の検討」
竹田 昌平（日本大学 医学部 形成外科学系形成外科学分野）
- 09-4 「小児の化学損傷2例」
塚本 歩（福岡市立こども病院）
- 09-5 「乳児の上肢熱傷に対して背部より分層植皮術を施行した1例」
伊藤 綾美（北九州市立八幡病院）
- 09-6 「小児熱傷で保存治療は何日間行うか？ - 治癒に要した期間と肥厚性瘢痕発生率の相関 -」
若槻 華子（新潟大学 医学部 形成外科学）

一般演題 10 [口演]

第2日目 5月24日(金) 9:50~10:40 第3会場

「特殊熱傷」

座長：木村 中 (函館中央病院 形成外科)

- O10-1** 「練炭式こたつで3度熱傷を受傷した1例」
福嶋 学 (弘前大学医学部附属病院 形成外科)
- O10-2** 「認知症患者に生じた暖房便座による低温熱傷の治療経験」
池野屋慎太郎 (松江赤十字病院 形成外科)
- O10-3** 「スプレー缶による熱傷受傷例の経験」
吉田 光徳 (日本大学 医学部 形成外科学系 形成外科学分野)
- O10-4** 「治療に苦慮した上肢ヒートプレス損傷の1例」
伊師 森葉 (仙台医療センター 形成外科・手外科)
- O10-5** 「踵部再建を要したガソリン化学損傷の1例」
植木 春香 (長岡赤十字病院 形成外科)

一般演題 11 [口演]

第2日目 5月24日(金) 10:40~11:30 第3会場

「瘢痕治療」

座長：大浦 紀彦 (杏林大学医学部 形成外科)

- O11-1** 「熱傷面積と再建材料から考える頸部熱傷後瘢痕拘縮10例の検討」
大浦 紀彦 (杏林大学 医学部 形成外科)
- O11-2** 「頸部熱傷後瘢痕拘縮に対する Expanded flap を用いた治療」
亀井 航 (東京女子医科大学 形成外科)
- O11-3** 「当院での高齢者における頭頸部熱傷後頸部・下口唇の瘢痕拘縮に対するアプローチ」
吉田 絵理 (独立行政法人 地域医療推進機構 中京病院)
- O11-4** 「DV (Domestic Violence) と誤診した白傷性陰唇熱傷瘢痕の1例」
五十嵐悠大 (千葉大学 医学部 形成外科)
- O11-5** 「手指熱傷後瘢痕拘縮に対するイリザロフミニ創外固定器を用いた再建の治療経験」
東盛 貴光 (社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 形成外科)

一般演題 12 [口演]

第2日目 5月24日(金) 13:00~13:40 第3会場

「局所療法」

座長：田中 克己(長崎大学医学部 形成外科学教室)

- O12-1** 「クリーニングプレス機による手部熱圧挫創の整容面を考慮した治療戦略」
森田 尚樹(東京都立広尾病院 形成外科)
- O12-2** 「浅達性2度熱傷創部局所へのビタミンC誘導体直接塗布による治療経験」
石川祥一朗(あいち小児保健医療総合センター 救急科)
- O12-3** 「顔面熱傷に対する銀含有ハイドロファイバーシートのパック療法の有用性について」
堀米 迪生(鹿児島市立病院 形成外科)
- O12-4** 「広範囲深達熱傷治療におけるデブリードマンデバイスの選択」
日原 正勝(関西医科大学附属病院 形成外科)

一般演題 13 [口演]

第2日目 5月24日(金) 13:40~14:30 第3会場

「外科的治療」

座長：迎 伸彦(北九州総合病院 形成外科)

- O13-1** 「広範囲熱傷に対する治療戦略について」
宗 雅(北九州総合病院 形成外科)
- O13-2** 「当科における腋窩部の熱傷治療についての検討」
小橋 啓太(長崎大学病院 形成外科)
- O13-3** 「熱傷による化膿性長母趾伸筋腱炎に対し V.A.C.Ult a と PAT 移植で患肢救済できた一例」
出端 祥成(社会医療法人高井会 高井病院 整形外科)
- O13-4** 「広範囲熱傷後の患者に対する頭部採皮における工夫—他職種連携の重要性—」
羽多野隆治(大阪市立大学大学院医学研究科 形成外科学)
- O13-5** 「形成外科と整形外科のチーム医療によって機能と形態を温存しえた手の重度熱圧挫創3例」
范 綾(久留米大学病院 形成外科・顎顔面外科)

一般演題 14 [口演]

第2日目 5月24日(金) 14:30~15:30 第3会場

「被覆材・外用剤」

座長：吉牟田浩一郎(北九州総合病院 形成外科)

- O14-1** 「上皮化が遷延する分層植皮術後の創に亜鉛華デンプンが有効であった2症例」
楨野 祥生(やよいがおか鹿毛病院 形成外科)
- O14-2** 「熱傷創に対する銀含有被覆材の使用経験と問題点」
奈良 慎平(日本医科大学千葉北総病院 形成外科)
- O14-3** 「手袋型アクアセル Ag BURN を用いた手の熱傷治療の工夫」
戸上 由貴(大阪警察病院 ER・救命救急科)
- O14-4** 「カデキソマー・ヨウ素軟膏が代謝性アシドーシスを引き起こした腎不全合併の熱傷2症例」
藤塚 健次(前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科救急科)
- O14-5** 「久留米大学形成外科における人工真皮の選択と使用方法について」
山内 大輔(久留米大学 医学部 形成外科・顎顔面外科学講座)
- O14-6** 「右上肢から胸背部にかけての熱傷に対する植皮固定に陰圧閉鎖療法を用いた1例」
鈴木 大聡(東京都立多摩総合医療センター)

一般演題 [ポスター]

第1日目 5月23日(木) 14:30~15:10 ポスター会場

「ポスター討論1」

座長：森岡 康祐(鹿児島市立病院 形成外科)

- P1-1** 「羊熱傷モデルを用いた培養表皮移植床としての人工真皮の有用性」
新美 陽介(東京女子医科大学 形成外科)
- P1-2** 「両側足の熱傷瘢痕から片足に熱傷瘢痕癌を生じたため両側下腿切断を行った1例」
坂井 重信(鳥取県立中央病院 形成外科)
- P1-3** 「熱傷手術におけるデブリードマン手技の再分類」
加藤 敬(JCHO 中京病院)
- P1-4** 「熱傷患者に対してのエンゼルメイク」
平井 佳子(前橋赤十字病院 診療情報管理室)

一般演題 [ポスター]

第1日目 5月23日(木) 15:10~15:40 ポスター会場

「ポスター討論2」

座長：西村 剛三（福岡徳洲会病院 形成外科）

P2-1 「電撃傷～高周波誘導炉で電撃傷を受傷した一例の経験から～」

石井 浩子（北海道大学大学院医学研究院 形成外科学教室）

P2-2 「予想外に早期上皮化が得られた灯油熱傷の1例」

渡部 祐衣（太田総合病院附属太田西ノ内病院 救命救急センター）

P2-3 「診断に苦慮した6価クロムによる手指化学熱傷の1例」

小室 明人（金沢大学 形成外科）